

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は将来、管理栄養士になりたいと考えていたので、国家試験の合格率の高いこの大学を希望しました。それに食に関する分野のゼミが多くあり、私に適した環境が整っており、より多くの食に関する知識が学べると思っても興味をもちました。

- (2) 推薦入試対策としての受験勉強の進め方について。

## 〔1学期〕

受験科目は英語と理科の2科目で、理科は生物に決めました。私は主に生物を中心に勉強をしました。生物は基礎から始めました。問題集を何回も解き直しをし、分からない所や分かる所でも見落としがないように隣に資料集を置きながら勉強しました。

## 〔夏休み〕

生物基礎を一通り勉強した後に生物を勉強しました。生物の範囲は広いので問題集を何度も解き直しが必要だったので、不安だった所にマーカーを引いたりして入試当日にもう一度見直せるようにしました。私は長文読解が苦手だったので、まずは長文に慣れるように長文問題を解いたり、英単語を覚えたりしました。

## 〔2学期～入試直前〕

入試問題の形式に慣れておくようにと、同志社女子大学の過去問を解いて、間違えた所は資料集を見たりして次に間違えないようにと何度も繰り返して確実にしました。私は過去問を全て解いてしまい、やる事なくなってきたので私はまた生物の問題集で間違えた所の見直しをしたりしました。そして何がよく出題されているのか過去4年分の問題をみて、分析したりしました。また、次はどの問題が出題されるのか予想をしたりしました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

この一年間の受験期において私がしつ注意していたことは、体調管理です。私はどちらかといえば夜型だったので、夜寝る時間が遅くなり、睡眠時間が短かったのが、体調を崩しやすいです。なので早寝早起きを徹底していました。早寝早起きを徹底したことにより、体調を崩すことが少なくなり、毎日万全の状態で学校に行き、その帰りに塾に行き勉強に励むことができていました。なので、早寝早起きをすることによって有意義な受験生活を送ることができたと思います。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

入試当日はやはり緊張すると思いますが、緊張するほど頭が真白になって今まで勉強したことか無駄になってしまいます。今まで自分がしてきた事を信じて下さい！今まで通りに落ち着いて問題を解いて時間があまったら何回も見直して下さい！